**平成３０年度「メンタルタフネス講座（認知症の心理と行動）」実施要項**

***～☆ＶＲではなく心理学で学ぶ認知症の世界☆～***

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　目　　的 | 社会福祉事業従事者が、対人援助サービスに伴うストレスに対し、「折れない心」で自分を表現し、利用者およびスタッフとコミュニケーションをとるスキルを身に付けます。心理学の視点から、援助活動が自己成長に結びつけられるように、自己分析の理論を学びます。 |  |
| ２　期　　日 | **平成３０年１２月１２日（水）【１日間】** |  |
| ３　場　　所 | 茨城県総合福祉会館４階　大研修室  　　水戸市千波町１９１８ |  |
| ４　対 象 者 | 社会福祉施設・社会福祉協議会等に勤務する対人援助に携わる職員  **【定員１００名程度】**  **※先着順です。受講できない方のみ、本会より電話にてご連絡致します。** |  |
| ５　研修日程 | 別添、研修日程のとおり。 |  |
| ６　受 講 料 | **１人　４，５００円**(当日、受付にてお支払いください。)  **※茨城県社会福祉協議会会員の事業所等（以下「本会会員」という。）は、1人　２，５００円です。** |  |
| ７　申込期日 | **平成３０年１１月９日（金）～平成３０年１２月３日（月）【先着順】**  **（本会会員の事業所は、１０/２６（金）から申込み可とします。）** |  |
| ８　申込方法 | 別紙「受講申込書」に必要事項を記載し、**ＦＡＸにより下記まで送付してください。**  ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。**（申込書到着順）**  **※受講できない方のみ、本会より電話でお伝えいたします。**  **※ＦＡＸ到着確認の電話は不要ですが、不達の場合は研修受講ができませんので予めご了知ください。** |  |
| ９　そ の 他 | 1. 受講申込後に、欠席または申込事項の変更がある場合は、速やかに下記ま　でご連絡ください。**無断欠席**の場合は、「受講料」を請求することがあります　　ので、予めご了知ください。   ②　受講申込書に記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ　使用いたします。なお、本研修の受講者名簿に、氏名・所属等を掲載いたしますので、ご了承ください。  ③　駐車場の収容台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。駐車場の混雑状況は「茨城県総合福祉会館」で検索してください。  ④　天候等の理由により、研修室の安全が確認できない場合は、中止することもありますのでご了承ください。受講当日の時間の変更等は、本会ホーム　　ページに掲載します。⇒「茨城県社会福祉協議会平成30年度社会福祉従事者研修」で検索してください。  ⑤　服装は、体温調節ができるものをご着用下さい。  ⑥　昼食は、各自ご持参ください。  ⑦　研修時に、配慮が必要な方は、事前に下記までご連絡ください。 |  |
| 10　問合せ・  参加申込先 | 社会福祉法人　茨城県社会福祉協議会　福祉人材・研修部（平間・勝又）  　　〒３１０－８５８６　水戸市千波町１９１８  　　　ＴＥＬ０２９－２４４－３７５５　ＦＡＸ０２９－２４４－３２１０ |  |

研　修　日　程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日　　時 | 研修科目および講師名 | ねらい |
| 【12月12日】  9:15～ 9:50  9:50～10:00 | 受付  オリエンテーション |  |
| 10:00～12:00 | 【講義・演習】  **「認知症の方の心理と行動を知る」**  心理分析を通して、事例を解析しながら、自分自身の「自己分析」を試みます。 | 認知症の世界を、心理学の視点から学びます。  心理学の基礎知識は不要です。 |
| 12:00～13:00 | 休憩（昼食） |  |
| 13:00～16:00 | 【講義・演習】（午前中の続き）  「認知症」の理論と技術  「認知症」から人間の深層心理への知見を深め、ケア実践への気づきにつなげます。 | 対人援助サービスは他者援助を通した自己成長を促します。利用者・家族のみならず自身も、その援助のプロセスで元気になれることが大切です。人間の心理や行動を分析し、自己成長の情報を引き出す手法を学びます。 |
| 16:00 | 閉　会 |  |

講師紹介

日本ケア・カウンセリング協会　代表理事　品川　　氏（臨床心理士）

臨床心理士、専門は、 ターミナル・ケアおよび生活習慣病における、認知行動療法とナラティブ・アプローチとしての「行動形成法」（認知と行動の集団変容法）の実践研究。早稲田大学卒業後、東京教育大学（現、筑波大学）教育相談研究所にて臨床研修を終了。千葉県・磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000年内閣府認証・特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会を創立、同代表理事。これまでに東京学芸大学、目白大学大学院、千葉県医療技術大学校の講師を歴任、また聖路加国際病院精神腫瘍科に在籍し、横浜地裁の精神鑑定人（心理分析）も務めた。現在、札幌学院大学社会コミニティ・カレッジ講師。日本カウンセリング学会・日本行動療法学会所属。

**-補足説明-**

この茨城県社会福祉協議会（以下、県社協と言う。）の「メンタルタフネス研修」は特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会（以下、協会と言う。）主催の「ケア・カウンセラー養成講座」と連携し、希望者は「ケア・カウンセラー」資格が取得できる可能性があります。

＊「ケア・カウンセラー」は協会の任用資格ですので、**資格登録には協会に入会する必要があります**。

　（ケア・カウンセラー登録は本人の任意です）。

＊**ケア・カウンセラー4級及び３級は、本講座の修了証があれば、書類選考のみ（筆記試験無し）で登録が認められています（要、協会入会）。**※平成30年10月から変更

　・必修科目合計２４単位（時間）受講で、「ケア・カウンセリング研修修了書（４級）」（ケア・カウンセラー4級資格が得られます）※平成30年10月から変更

・必修科目初級・中級合計４８単位（時間）受講で、「ケア・カウンセリング研修修了書（３級）」（ケア・カウンセラー３級資格が得られます）※平成30年10月から変更

＊ケア・カウンセラー２級以上は所定の実技科目の受講が義務付けられています。

＊「ケア・カウンセラー」の名称は特許庁に登録されており、協会の許諾を得ない者がこの名称使用して利益を得た場合、協会に差し止め請求権と損害賠償権が認められています（商標登録法）。

**＊本研修修了証は県社協が発行します。本研修の修了時に、「修了証」を発行する予定です。**1日の受講で、5単位（協会のケア・カウンセリング必修単位）を取得することができます。

＊県社協主催「メンタルタフネス講座（初級・中級・入門・トピック）」は、協会の「ケア・カウンセラー養成講座」の連携講座に認定されています。県社協で受講された方の出席・単位等の管理は県社協です。（それ以外の講座の管理はその講座の主催者になります。）

　※県社協研修で足りない単位は、協会主催等の研修を受講してください。

「ケア・カウンセラー」についてのお問い合わせは、メールで日本ケア・カウンセリング協会へ

〒112-0013 東京都文京区音羽1-6-8 音羽小峰マンションズ1F

　http://www.npojcca.org　　e-mail: npo-jcca@npojcca.org

**事務局より…**

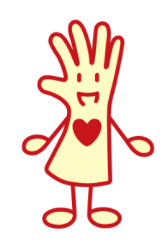
臨床心理学の世界を、品川博二先生の指導によりわかりやすく体感する機会です。

研修を主体的に参加することで、研修後は、自分自身の気持ちや考え方に変化がでます。

是非、この機会に、自分と向き合ってみませんか。

メンタルタフネス講座では、ケア・カウンセラー養成講座（日本ケア・カウンセリング協会）と連携しています。

支援者として必要な自己成長、対人コミュニケーションのスキルを磨くことができます。

****